

【庁議結果\_HP版】

区 分	内 容
会 議 名	令和4年度 第7回庁議
日 時	令和4年6月28日（火）午前8時45分から午前9時10分まで
場 所	WEB 庁議
件 名	<p>【報告事項】</p> <p>(1) デジタル田園都市国家構想推進交付金の採択について (未来創造部)</p> <p>【その他】</p> <p>(1) Digi 田甲子園について（大野副市長）</p> <p>(2) クールシェアスポットについて（市長）</p>
<p><b>【報告事項】</b></p> <p><b>(1) デジタル田園都市国家構想推進交付金の採択について（未来創造部）</b>  未来創造部長・交通政策担当部長から資料に基づき説明  ※詳細については、添付ファイルを参照のこと</p> <p><b>【質疑等】</b></p> <p><b>(1) デジタル田園都市国家構想推進交付金の採択について（未来創造部）</b></p> <p>《大野副市長》</p> <p>TYPE 1～3として一つの地域で実装に向けて取り組むのは全国でも前橋だけである。</p> <p>TYPE 1に関しては、建築指導課等、現場の切実なニーズを具現化しようという思いで動いていただいた。</p> <p>また TYPE 2に関しては、これまで前橋が積極的に取り組んできた自動運転、MaaS、福祉部とも連携した交通施策といったところが、群馬県にも響いて県の申請となった。</p> <p>TYPE 3に関しては、デジタルを活用して、市民生活全般をどのように高めていくかについて、民間の方々の議論を中心に申請をした。</p> <p>TYPE 1～3は、総じて暮らし全般をどう利便性の高いものにしていくかというところが、デジタル田園都市国家構想の趣旨そのものとして評価されたと理解している。</p> <p>群馬県や民間中心という部分もあるが市の取組と連携することで効果がより増すことにもなるので、庁内各所属には是非協力をお願いしたい。</p> <p>また将来的には前橋 ID やデータ連携基盤を使い、市の行政サービスの方向性についても議論できればと思うので、理解を深めるきっかけとしていただければと思う。</p> <p>《市長》</p> <p>TYPE 1～3まで各部の努力のおかげだろうと思う。</p> <p>特に特徴的なのは群馬県や外部の連携事業者等との「連携」という言葉がキーワードだと思う。</p> <p>暮らしテックに関しては、福祉、教育、医療等様々な情報がつながっていくことで新</p>	

たな価値が生まれる。

例えば、児童に対する課題解決策や、患者さんに対する新たなリハビリの提供等、それぞれのデータが連携することで新たな価値を提供できるということが、前橋の取組の一番のキーワードだと思っている。

「創発」という言葉を皆さんにお教えしたい。これは、誰かと繋がりあうことで、新たな価値が生まれるという意味である。

今まで我々は、縦割りという考え方で事業を行っていた。つまり他の部署とデータを共有して課題の解決策を見つけるということが難しかった。

今回のデータ連携では、他の部署ともデータの形で連携し課題を共有しながら進められるというのは、一番大きな価値なのだと思う。

まずは部課長さん同士が、データをもとにした連携の中で市民サービスの拡大を目指してもらえればと思う。皆さんの連携に期待している。

《戸塚副市長》

TYPE2について期限はあるのか。また、サービス実装とはどういうものか。

《交通政策担当部長》

TYPE2の暮らしモビリティについては、来年の3月までにサービス実装することが採択の条件となっている。現在関係者とプロジェクト構築、システム開発に着手する予定である。

また、これまでMa eMa a Sとして3カ年実践をしてきたので今までは、実験として終わっていた。このシステムをより高度化し、群馬県Ma a Sとして実務運用をスタートすることがサービス実装となる。

内容的にはMa eMa a Sでのモビリティの検索や予約決済を実務運用させることや、自動運転バスの実験を継続しながらサービス実装につなげていくということである。

《未来創造部長》

交通部門に関しては群馬県が既決予算で2億円を持っているのでスタートはできる状態にはなっているので、今後の市の負担等についても協議をしていく。

【その他】

(1) 夏のDigi 田甲子園について（大野副市長）

《大野副市長》

政府が現在、夏のDigi 田甲子園という事業を実施している。各地方公共団体のデジタルを活用した優良事例を各県代表として選抜された案件として一覧が掲載されている。

群馬県に関しては前橋の2件、「マイナンバーカードを活用したマイタク」とアイデア部門として「視覚障がい者歩行サポートシステム」が県予選を抜けて、全国大会に進出している状況である。

デジタル田園都市国家推進交付金とは違うが、全国各県の様々な優良事例が一覧となっているので、それぞれ各部署で関心のある取組を見て、前橋でもアイデアという形で取り入れてもらいたい。

《市長》

Digi 田甲子園の良いアイデアがあればコピーして実装ができるということか。

《大野副市長》

Digi 田甲子園では実装に関する補助金はないが、他の地域で実施している優良事例を知るということは非常に網羅性のある分かりやすい取組だと思えるので関心を持ってみたい。最終的にインターネット投票で一位を決めるので皆さんに改めて連絡したいと思う。ただ、組織票等の対応は必要ないと思う。素直に良いと思った所に投票してもらえればそれで良い。

《未来創造部長》

Digi 田甲子園については今後1分程度のPR動画を随時載せていく予定であるので参考に見ていただきたい。

《大野副市長》

各部の皆さんには是非実装しているサービスを見ていただきたい。  
アイデア部門のところも参考程度に見てもらえれば良いと思う。

《市長》

前橋のアイデアベースでは、全盲の方であってもIoTの力で歩ける街といったイメージなので、道路部門や交通部門や福祉部門の方等、是非皆さんに見てもらいたい。

## (2) クールシェアスポットについて (市長)

《市長》

気温が急に高くなってしまっていて高齢者へのクールシェアスポット等、暑さを凌げる場所について各部からも知恵を絞って提供できるようにしてもらいたい。

以上

\* 今後の庁議開催予定

開催日	開催時間	場所
7月12日(火)	午前9時00分	WEB
7月26日(火)	午前9時00分	WEB
8月9日(火)	午前9時00分	WEB

7月の定例記者会見は13日(水)、29日(金)

8月の定例記者会見は10日(火)それぞれ午後2時00分から開催します。